

(調査様式1)

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成 25年 4月 20日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	第4675200168号
法人名	特定非営利活動法人 ケアネットあいら
事業所名	グループホーム 明倫館
所在地	鹿児島県始良市加治木町木田1133番地 (電話) 0995-62-5650
自己評価作成日	平成25年3月31日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービスと位置付けのグループホームとして、地域の方々にその存在を知って頂き、気軽にお越し頂ける様に掲示板を設置しています。同じ理由で施設が核となり、介護劇を地域の公民館で行ったり、理事長、管理者共に地域のさまざまな役員を兼ねており、色々な機会に認知症の啓蒙活動を行っている。このことは多くの出会いを生み出すことであり、困ったことがあったら、気軽に相談して頂けるような関係が築けたらとの想いで活動しています。そうして地域の方とグループホームが共に助け合い、地域の方が住み慣れた所でいつまでも安心して暮らして頂けるよう、お手伝いできたらと考えています。当ホームの特徴として、非常時の対応の視点を含め、どの居室からもすぐに外に出られるように開放的な創りになっています。福利面として多くの女性が勤務していることの現状を踏まえ、保育園の保育時間に配慮した勤務にするなど、心身共に健康でなければ、良い介護はできないとの考えの基でスタッフルームにマッサージ機を設置するなどの配慮を行っています。

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島県鹿児島市下荒田2丁目48番13号
訪問調査日	平成25年4月14日

加治木町の市街地に近く、幹線道路から少し入った閑静な住宅地に建てられているグループホームである。近隣には病院・学校などの社会資源もあり、環境に恵まれ、夏はホームのテラスから花火大会を鑑賞することも出来る。開設して11年目で始良地区でも中核的な存在の事業所となり、近隣の福祉事業所等と協働して介護劇団を結成し、公民館などで介護劇や介護教室などを開催するなど地域に向けての認知症の啓蒙活動にも力を入れている。また、ホーム前に掲示板を設置し、地域・行政・ホームの情報発信に活用されている。地域住民からも好評で散歩の途中で掲示板の情報を見ることが楽しみにしている住民もいる。働きやすい職場環境作りに力を入れ、浴室の福祉器具導入や福利厚生充実、資格取得の支援など離職の軽減にも繋がっている。また、現在、介護福祉士12名、ケアマネ3名、看護師1名と介護の知識と経験の豊富な職員が多数確保されている。家族からの意見・要望を引き出す工夫として、家族からの提案により面会簿を工夫した連絡帳を作成したところ、成果があり、サービスの質向上や運営に活かされ、家族との信頼関係の構築にも繋がっている。また、年3回の家族会では、行事や日常の様子を録画したビデオ上映で離れて暮らす家族の安心に繋げている。災害対策においては近隣住民も緊急連絡網に登録され、全居室を掃き出し窓にしてテラスを設置し、すぐに外に出せる造りとなっている。また、居室の入り口に利用者の身体状況を掲示して外部者でも適切な避難誘導がスムーズに行えるよう工夫している。職員は可能な限り、利用者の思いや暮らし方の希望に添えるようにと質の高いサービスの提供に努め、利用者寄り添い、日常の発することばに傾聴している。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送り時に職員全員で復唱することで確認、共有しています。	理念の中に「地域と共にあなたを支えます」との地域との関わりの重要性を認識した文言も含まれている。職員は申し送り時に復唱して理念の共有と実践に繋げている。また、理念とは別に年間標語も掲げ、1年間の目標とし、実践に取り組んでいる。理念は玄関・ホールに掲示し、重要事項説明書に明記されている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人員として日常的に交流している	自治会に加入し、施設の掲示板や回覧板にホームの便りを掲示しています。地域のボランティアや保育園も定期的に行事に参加しています。	自治会に加入し、管理者が総会などにも出席したり、回覧板にてホームの広報誌の回覧も行っている。また、ホーム前の掲示板は地域・行政・事業所からの情報発信に活かされている。近隣の保育園との交流や中学生・高校生・看護学校生の実習、ボランティアの受け入れも行っている。地域行事の初午祭にはホーム前でも馬踊りが披露されて地域住民も観覧に訪れる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	当ホームが主体となり介護劇団を結成して地域の催しに参加したり、講演を行ったりしています。また実習生の受け入れも積極的に行っており、地域の方々からの認知症の相談も受けています。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	家族の代表、地域（議員、民生委員、自治会）の代表、行政関係者の方々に参加を頂いている。評価の結果報告や状況報告を行い、意見等を頂き日々のケアに活かしています。	自治会長・民生委員・自治会連合協議会員・地域住民代表・家族代表・行政などの参加で2ヵ月に1回定期的開催されている。家族からの意見・要望などを引き出す工夫について、出席者からの助言をもらったり、時には、防災訓練時に開催することもあり、実情をみてもらい、気づきや助言をもらうなどサービスや安全対策に活かされた有意義な会議となっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政の研修会参加だけでなくスタッフとして協力し、日頃から互いに良好な関係を築いています。施設長、管理者共に地域の役員をしていることもあり、密に連絡を取り合っています。	必要に応じて相談等に出向いており、日頃より市担当者と連携を図っている。また、市主催の介護教室にも協働して取り組んでいる。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	当ホームは身体拘束宣言を行っており、コールマット、センサー等を活用するなどして安全面に配慮している。日中は玄関は施錠せず、また各居室から自由に戸外へ出られるような造りになって職員も身体拘束をしないことを理解しています。	玄関に「身体拘束排除宣言」を掲示し、廃止委員会を設置してミーティング時に機会を捉えては研修や事例検討会を行い、禁止の対象となる具体的な行為について職員全員が正しく理解できるように取り組んでいる。日中は玄関の施錠はせずに外出傾向のある利用者もいるが、職員の見守りと連携で拘束のない安全で自由な生活を支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎朝の申し送り時に利用者権利擁護指針（コンプライアンスルール）を職員で復唱することで虐待行為について確認を行っています。また入浴や更衣の際にあざなどがいないか確認を行っています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	成年後見制度については以前利用されていた方もおられ、また現在利用されている方もご家族が検討されている為、ミーティング等通じて管理者より説明するなどしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約時、契約書・重要事項について説明を行い不安なく過ごして頂けるように努めています。退所時も段階を踏まえ話し合いを持ち、関係機関との連携を取り、責任を持って行先を決めるまでの援助を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	行事等に家族に参加してもらい、一緒に食事を摂りながら交流を図り、何でも言える関係を作れるように心掛けています。ご家族のアドバイスにて利用者毎に連絡帳を作り、職員と共有し、運営推進会議等に必要に応じて報告するなどしています。	来訪時や電話連絡時に意見・要望を聞き出すように努め、他にも面会簿を兼ねた連絡帳を個々に作成し、気づきや要望などを気軽に書いてもらえるように工夫している。また、年3回家族会を開催しており、毎回8割程の参加が得られ、職員と歓談する時間を設けてコミュニケーションを図り、家族が気軽に思いや意見を表してもらえるように取り組んでいる。第三者委員も設置されており、重要事項説明書に明記されている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月二回のスタッフミーティングや個別に意見を聴くなどして、コミュニケーションを取り、必要に応じて食事をしながらの対話の機会を設けるなどして、何でも言える雰囲気を作っています。	毎朝・夕の申し送りと毎月のミーティング時に職員からの意見・提案を話し合う機会としている。出された意見・提案などは可能な限り叶えられるように運営に反映させている。また、毎年、職員旅行と忘年会も企画して職員間のコミュニケーションを図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	小さな子供がいるスタッフが多く、急な勤務変更に素早く対応したり、学校行事に併せたりシフトづくりを行っています。資格取得に報奨金や退職金積み立ては全額雇用者負担で行っています。		

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修希望者には出来るだけ参加できるようにシフト調整を行ったり、参加費の負担を行うなどしています。また、近隣の施設と連携して独自の研修会を行っています。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>グループホーム協会の参加を通じて、他のグループホームとの情報・意見交換を行うなどしてサービスの向上に努めています。近隣の施設と共同で専門家による研修会を開催するなどしています。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	生活状態を把握する為、利用前に必ず面会を実施し、本人との触れ合いを通じてより、スムーズに利用が出来るようにしています。必要に応じて、利用前に数回の面会を実施することもあります。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	これまでの経緯、家族の苦労や今までのサービス利用状況などについて家族のみならず関係者の方と面談を行い、入所時の記録として要望等を記録として残すなど関係づくりに努めています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所時の計画において、まず何が当面の支援として必要か、特に本人の希望に配慮しつつ、御家族の心身の負担軽減に留意して、端的に暫定プランを作成しています。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人・ご家族・職員は共に「明倫館家族」の一員として、時に職員の家族も行事等に参加するなどして垣根を意識せずに暮らす仲間づくりを実践するなどしています。		

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	年間事業計画を年度初めに送付するなどして、遠方の御家族へも可能な限り、施設の行事に参加して頂く体制を整え、行事の際は出来る範囲で協力してもらっています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域の自治会に加入し、地域の行事（初午祭）を施設にお呼びすることで地域の皆さまがお越し頂いています。また花見も近くの公園を利用するなど馴染みの場所にお連れするなどしています。	日常の会話の中からはなじみの人や場所を把握して、（可能な限り）関係が途切れないようにふるさと訪問や買い物支援などを行っている。友人・知人の訪問もあり、訪ねやすいように配慮している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	職員が利用者同士の関係性について情報を連携し、日頃から利用者と多くの会話を持ち、楽しく過ごせるよう心掛けています。また利用者同士の関係が円滑になるような働きかけも行っています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院により退所された方のお見舞いへ行ったり、再入所の希望においては配慮しています。亡くなられた時は、通夜や告別式に参列するなどしています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用開始前に本人、家族からどのように暮らしたいかを聴き、介護計画に活かしています。毎朝、ひとり一人の挨拶、触れ合いを通じて思いを伝えることの困難な方にも対応しています。	日常の関わりや会話で利用者の思いや意向を把握するように心がけている。会話が困難な場合は表情や言動、家族や関係者からの情報などから本人本位に検討している。得られた情報はミーティングや個人記録で職員間の共有を図っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	利用される前、自宅等を訪問し、職員はそのことを通じ、本人、家族、担当ケアマネ等関係者から情報を得て、アセスメントシート等で確認するなどして把握に努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のしたいこと、訴え等を受け止め、本人の意思を尊重し過ぎて頂いています。出来る事などを見定め援助の方法などミーティング等で話し合い統一しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人・家族・医師等関係者の意見を反映したプラン作成は無論のこと、利用者の心身に変化が生じた場合、適宜関係者との話し合いを持ち共有して、現状に即した支援を行っています。	本人参加の担当者会議を開き、暮らし方の希望や意向を基に家族や主治医、職員の意見を取り入れながら介護計画を作成している。また、モニタリング、評価の記録を基に状態・生活機能の確認をし、きめ細かいサービスの提供を図っている。必要に応じて見直しを行い、問題がなくても定期的な見直しで現状に即した介護計画を作成している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々の些細な事、ことばなどもケース記録へ記入し、面会など家族が気付いたところも遠慮なく連絡帳へ記入して頂くなどして、職員間で逐次変化に対応共有を図っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	家族が遠方におられる方、高齢者の方など個々の状況を配慮して、通院時の送迎、付き添い、入院中の洗濯など、必要に応じた援助を行うことで家族の心身の負担軽減を行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	年間行事等に地域の保育園児の定期的な参加のみならず、緊急時の連絡先に近隣の方を入れ、防災訓練に参加協力して頂き、安全に過ごして頂くよう支援しています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	在宅診療計画の契約を結んでおり、主治医による月二回の往診をしています。体調不良時は状況に応じて施設にて搬送したり、往診して頂くなど24時間対応して頂いています。	本人、家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。ほとんどの利用者が同意を得て在宅診療計画の契約を結んでおり、健康管理や緊急時における適切な対応などで24時間連携が図られている。他科受診についてもホームより受診同行しており、かかりつけ医と事業所の関係が築かれている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	看護職員を配置しており、日勤帯は常時、情報や気づきを伝え、夜勤帯の急変、事故発生時は看護師に連絡して指示を仰ぐなどしています。また会議等を通じて看護に対する勉強会を行い互いの関りが出来ています。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている	特に利用者の家族が遠方の場合は頻りに面会に行き、利用者が安心して入院できるようにしています。医師、関係者共に密に情報交換、相談に努めて退院後も経過を報告するなどしています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	事業所でできることを十分に説明し、本人や家族等の希望を一番に考えてチームで取り組んでいます。その際直接、主治医より、現在の症状や今後予測されることなど専門家より説明を頂いて、相互に理解が深められるようしています。	重度化及び看取り介護に関する指針を作成して入居時に説明している。入居後は身体状況に応じて医師の判断のもと、家族と方向性を話し合い、ホームで出来る最大限の支援に取り組んでいる。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	看護職員を配置していることを利点として、職員ミーティング等で研修会を実施しています。しかしながら実践力にはまだ不十分と考えています。		

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>当ホームは各居室、ホールよりテラスに出られる構造になっています。その上スプリンクラーの設置もなされ、同敷地内のご家族、近隣の方にも非常通報にて連絡が取れるなど平常から協力体制を築いています。</p>	<p>年2回昼夜間想定で避難訓練を実施している。近隣住民も緊急連絡網に登録されており、協力体制が築かれている。ホームセキュリティとの契約、スプリンクラー、自動通報システムも設置され、備蓄も確保されている。居室入り口に身体状況が掲示されており、外部者でも適切な誘導がスムーズにできるよう工夫されている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	出勤時、職員は利用者お一人ひとりに挨拶を行い、朝礼時、コンプライアンスルールを復唱することで確認を実施、言葉かけなどに留意しています。	理念を基にした利用者権利擁護指針を作成し、玄関に掲示すると共に毎朝復唱するなどして職員の資質の向上に努めている。また、日常の業務でも気づいたら注意し合うなど誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ポジティブプランは無論のこと、意思が上手く表現できない方においてはその方に自らが成り変わらうかどうかなど利用者様に近づいて希望を見いだせるようにしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日課すべてをを利用者様一人ひとりの希望に沿ったことは難しいですが、起床・食事・就寝時間は可能な限り、本人の希望に沿った支援を行っています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	美容について、美容師さんに出張にて対応してもらい、パーマを希望にも対応しております。衣類の購入についても本人に選択して頂くこともあります。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	旬の食材、筍やつわの皮むきなど季節を楽しみながら行って頂き、その後の献立に提供したり、テーブル拭き等利用者様の出来る事に応じてお手伝いして頂いています。	利用者それぞれの力量に合わせて筍やつわの皮むきなどを季節を感じながら手伝ってもらっている。また「食」は利用者の楽しみのひとつであり、希望を聞いて出前寿司、宅配ピザ、刺身、朝食に菓子パンなども提供している。時には庭でバーベキューを楽しんだり、外食、弁当持参での外出も行っている。	

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	献立は栄養士が以前作成したものを参考にしています。食事摂取量が少ない方には主治医と連携をとり高カロリー食の提供、水分については必要に応じゼリー食で補っています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	このことは特に看護師が留意していることであり、義歯の方には毎日、義歯洗浄剤で消毒を行い、研修会においても口腔ケアの必要性の周知を図っています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排泄表を活用し、基本的にトイレにての排泄を心掛けています。必要に応じ、職員数名で介助することで利用者様の心身の負担軽減を図り、おむつ等の使用の軽減を図っています。	時間単位の排せつチェック表を作成して、個々のパターンを把握し、身体状況に問題がない限りおむつは使用しない方針でトイレでの排せつや自立に向けた支援を行っている。入居後に改善された利用者も多く、皮膚疾患などの改善にも繋がっている。自立している利用者も維持できるように支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	毎朝食時、牛乳やヤクルトを提供し、午前のおやつの際はバナナを差し上げるなど水分も十分に摂って頂くよう支援を行っています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	お湯の好み、入浴の順序については意向を尊重しています。曜日・時間帯についても全ては困難なところもありますが、可能な限り、希望を尊重して行っています。	基本的には一日おきを目安としているが本人の希望や身体状況に応じて柔軟に支援している。また、福祉器具導入で職員・利用者の負担が軽減され安全・快適な入浴が行われている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	本人の、ご希望に合わせて室温の調節を行ったり、就寝、起床時間も柔軟にしています。就寝前にココアなど温かい飲み物を提供するなどの支援を行っています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師の管理の基、処方等については説明書綴りにて確認が出来るようにしています。疑問など必要に応じて看護師に確認するなど連絡帳も活用しての対応の変化に対応しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	つわやらっきょうの下ごしらえなど調理の手伝いや洗濯物を畳んで頂いたりしてもらっています。必要に応じて本人の意欲に合わせてスタッフ共に会話を楽しみながら支援しています。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日常的に外出は出来ないがテラスでの日光浴、お茶会等心掛けています。季節に合わせて、ご家族と協力しながら地域の行事に参加し、時に故郷訪問も行っています。	天気のいい日はテラスでお茶や外気浴を楽しみ、夏は花火大会を鑑賞することもできる。本人希望によるふるさと訪問や買い物支援、全員で出かける季節の花見や初詣、地域行事見学、駅伝応援など、季節を感じられるように外出支援を行っている。	

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>認知症の方をお世話させて頂いており、全ての預り金はホームで管理させて頂いています。欲しい物がある際は職員が同行して買い物を楽しんで頂いています。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>基本的に自由に、利用者が電話されたい時は出来るように支援しています。また、本人、ご家族の気持ちを考えて、子機を使用することでプライバシーへの配慮を行っています。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>玄関・ホールには季節の花を飾り、掲示板にも季節感が感じられるようディスプレイを行っている。ホールの窓から鯉のぼりがみられる等季節感と開放感が同時に得られるような構造となっています。</p>	<p>共用空間は広く明るく過ごしやすいように配慮されている。ユニット間は可動式の間仕切りで区切られているが、行事の際や夜勤時などは行き来できるようになっている。また、リビングから直接出入りできるテラスは日常的に日光浴やお茶などに活用され、開放感がある造りである。また、台所からの食事のにおいや準備の光景は生活感を与えてくれる。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ホールで隣の館と繋がっており、自由に行き来が出来るようになっています。椅子も一人用からソファまで必要に応じて利用できる配慮になっています。このことでそれぞれの居場所の確保がなされています。</p>		

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用されていた家具等を持ってきて頂き、本人の安らぎの場所作りを行っています。自室で見たい番組を見たり、外を眺めたりなどくつろいでおられます。	テラス付きの居室は開放感があり、災害時においても安心な造りである。テレビ・たんす・仏壇・家族の写真・お気に入りの飾り物などでそれぞれに個性があり、居心地良く過ごせるように配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	各居室の入口には外部からの援助者にも理解できるように個々の身体状況の掲示がしてありまう。トイレの入り口に目印を設置、洗面台も握れる工夫がしてあるなどの配慮を行うなどして自立した生活の支援を行っています。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

鹿児島県 グループホーム明倫館 1ユニット

66	職員は，生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て，利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て，利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない